染井吉野のふる里を訪ねて…

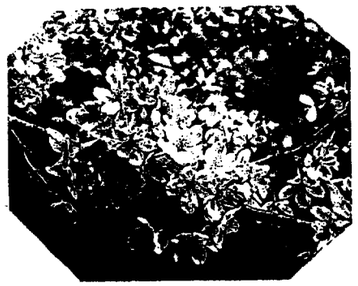
奥醋めぐり MAP

染井よしの桜祭り

毎年４月の桜の咲くころ

記念公園

イベント・模擬店・etc



〈染井吉野〉（そめいよしの）Prunus yedoensis Matsum.

野生種のヤマザクラのように園芸品種を代表する品種で、全国至るところに植えられています。花は淡紅色の一重で、新葉より先に密集して咲き、全枝が花にうずまるさまは、真に絢爛豪華です。

繁殖が容易で、成長も早く、また花つきも非常によいので急速に全国に普及しました。主に、公園・街路・学校・堤防などの公共施設に集団的に植えられています。

若木のうちは樹勢も強く、抵抗力もありますが、成長が頂点に達してしまうと急に樹勢が衰え、てんぐ巣病にもかかり易く、平均して樹齢が短いという欠点があります。

なお、この品種は江戸時代末期、江戸染井村（現在の豊島区駒込）の植木屋が「吉野桜」と称し、売り出したのが始まりで、その後、桜の名所、吉野山のヤマザクラと区別するため、「染井吉野」の名がつけられました。

庚申塔　駒込小内

駒込小60周年記念事業の一つとなった貴重な文化財。

寛文十二年（1672）七人の村民で建立。二体の猿もめずらしい。

この地に庚申信仰が深く根をおろしていたものと思われる。

朝日にかがやく

日枝神社　駒込一丁目

安政年代の図説に〝上駒込村字伝中は神明宮（現天祖神社）の氏子なるに、山王社を伝中の氏神にしている。〟となっており、東方に向って高台にあり、朝日山王宮と号し見晴しのよい景勝の地であった。

明治天皇行幸記念碑

旧木戸邸跡　駒込一丁目

明治時代のすぐれた政治家木戸孝允の家敷跡（別邸）山口県生れ（1832 ～ 1877）往小五郎から名が変った。

大久保利通・西郷隆盛と共に明治維新の三傑として有名。明治天皇が二回見舞いにきている。〝西郷もう大抵にせめか〟が最後の言葉とし有名。

おわん横丁の尼寺

福寿禅院

江戸時代，桂林院殿宗春大禅定尼が開基。五世の大林哲乗尼までは高木一族の出で，特に八世の黄山梅林尼は天下の三尼僧の一人に数えられ，全国から徳を慕って修業僧が集り，最盛期には五十名余りにもなる尼僧がいた。

朝夕におわんを持って托鉢したことからこの辺は〝おわん横丁〟と名付けられていた。

本駒込にある名主屋敷の先代高木将監が豊臣の遺臣であったことから，高木家の娘が江戸城大奥勤めとなり28才で落飾（らくしょく）し尼僧となってここに庵をつくった。

話し言葉で小説を書いた……

二葉亭四迷（ふたばてい しめい）のお墓

明治時代の小説家，東京生れ（1864 ～1909）

本名は長谷川辰之助，東京外語大ロシア語科卒

ロシヤ文豪ツルゲーネフ等の小説を翻訳。

彼の小説は初めて国語体を用い（言文一致）で日本近代文学の先が付をつくり，この功績の評価は高い「浮雲」は代表作。

詩人・彫刻家として有名な……

高村光太郎のお墓

東京生れ（1883 ～1956）東京美術学校（芸大）の出身，ロダンなどの影響も受け，すぐれた作品を作っている。理想主義者で「道程・どうてい」「智恵子抄」等の詩集もある。

戦火から京都を救った。

岡倉天心（おかくらてんしん）のお墓

美術教育家（1862 ～1917）

明治の混乱の中で伝統芸術を護り，新しい伝統うちたて日本の伝統芸術のよさを世界に紹介。

第二次大戦のおり，天心から影響を受けたアメリカの学者によって京都が戦火から救われたというエピソードもある。

染井村の鎮守さま

染井稲荷守　火防（ひぶせ）の神

村の鎮守で，昔この辺に井泉があり，木々の緑や紅葉で水面が染り，一説にはこれから染井の地名が生まれたとされている。

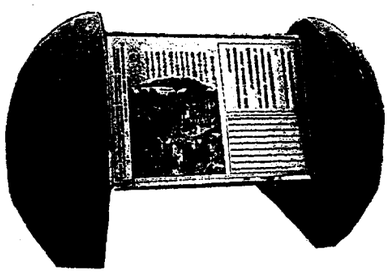
ご神体は十一面観音石像。延宝（1674）神仏混淆の貴重な史料である。

伊藤樹仙のお墓のある……

藤林山　西福寺

徳一大師の作で駒込にあるお寺で西福寺と福寿院を除いては，みな他より移転してきたもので，それだけに歴史は古い。徳川八代将軍吉宗に特に可愛がられ，〝樹仙〟と云われた伊藤伊兵衛政武（宝暦七年・1757没）の墓がある。

六地蔵や樹仙の「地蔵抄（じぞうしょう）」「花壇大全（かだんたいぜん）」（享保四年1719 ～ 1733）の古文書があり，狂歌人蜀山人の色紙などがある。



染井吉野桜発祥の里 記念碑（記念公園内）

スタート

コース

おおくにぬしのみことを祭る

大国神社　駒込三丁目　駒込駅前

大国主命が祭神，古い地図にも大黒師大島とでている。

身体が弱かった徳川家斉（いえなり）が信心，後に第十一代将軍になったことから，出世大黒，日の出大黒とも呼れている。

木刻の七つの大国神があり，大黒天像の福運があるとされている。

子どもを見守る

子育地蔵　駒込二丁目診療所となり

江戸時代より農民の素朴な信仰で引継がれているもので，日光御成道に面し，妙義坂，つかまん等もあり，往時がしのばれる。

左上方に二少女が刻まれている石塔は戦前消防自動車の事故にまきこまれた仲よし二少女のもの。

太田道灌も戦勝祈願した

妙義神社　駒込三丁目

文明四年（1472）道灌が豊島氏の平塚城（北区）攻略を前に戦勝祈願をしている。昔は稲葉山とも呼ばれ祭神は，日本武尊・高産霊神（たかむすびのかみ）神功皇后，応神天皇の四祭神。

染井よしの桜の会

東京都豊島区駒込

APR　2004